

# 大阪湾漁場環境速報

2024年11月 8日発行  
兵庫のり研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスが確認されています。窒素は、陸水等の影響が見られる湾奥部を除き、概ね6  $\mu\text{g-at/L}$  台の値となっています。

(水温) 表層は湾内21~22℃台で、平均22.0℃。平年比1.3℃高い。-10m層は平均22.1℃ (平年比+1.1℃)。

(塩分) 表層平均32.13psu(平年 31.30)。-10m層平均32.19psu(平年 32.02)。

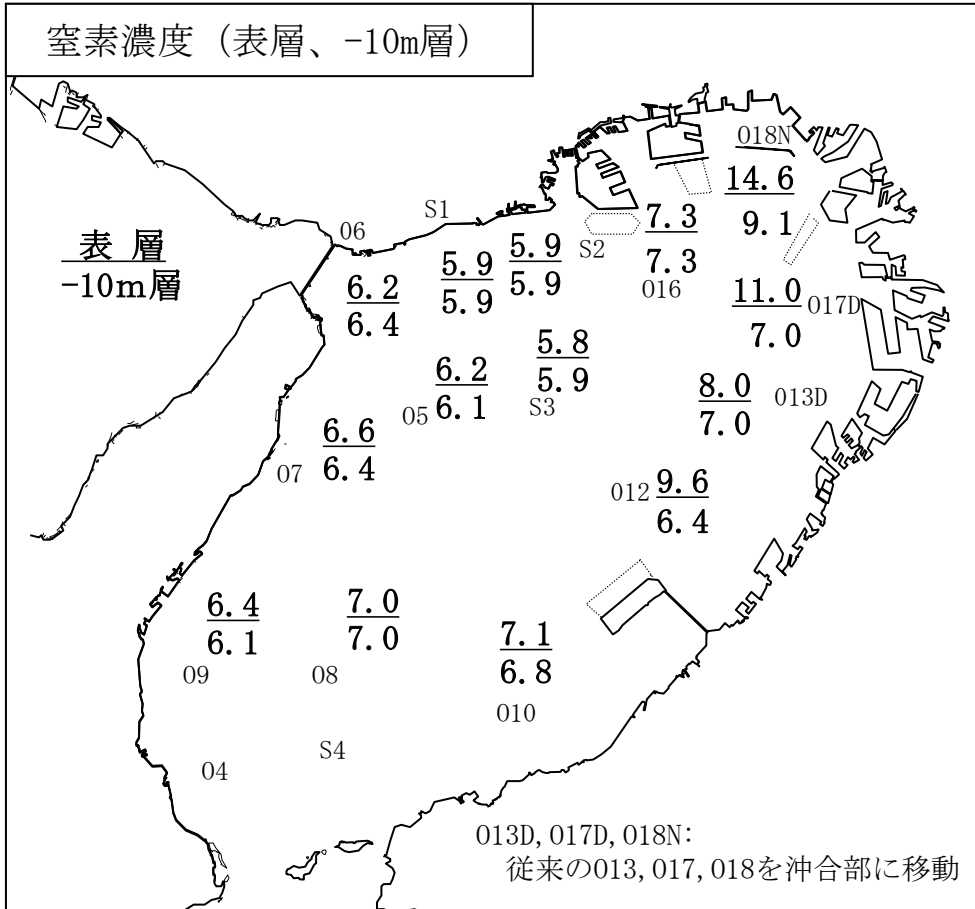
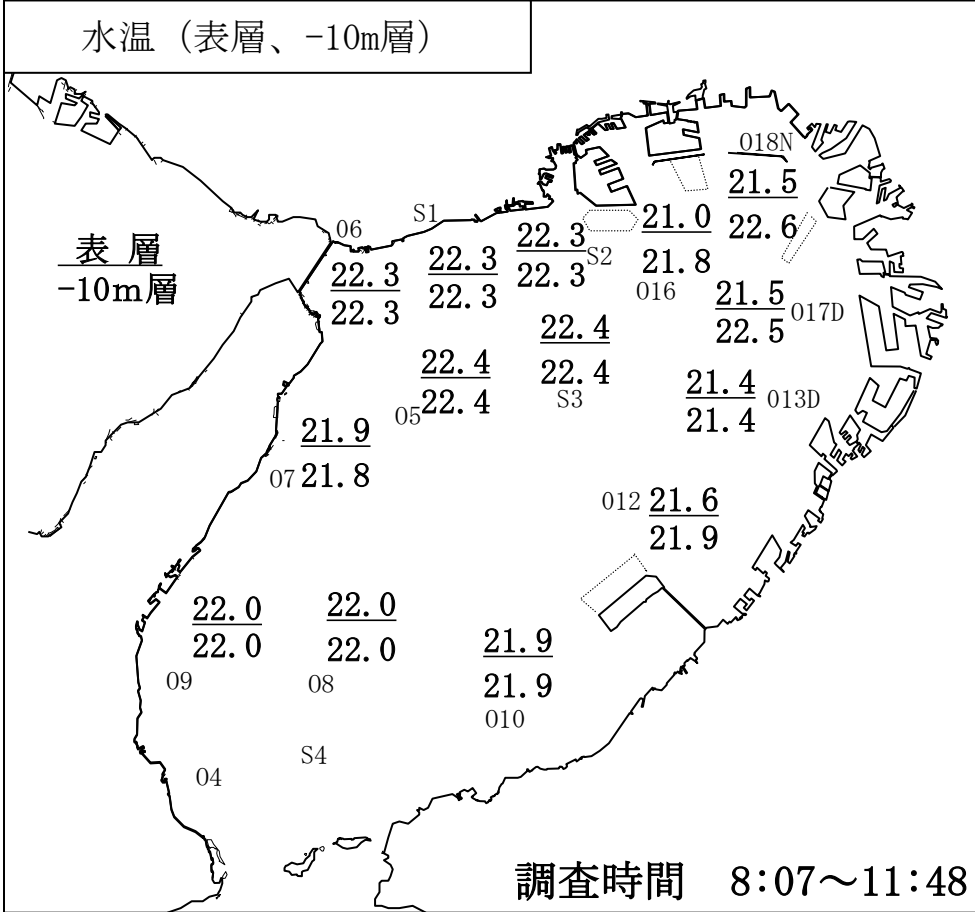
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均6.7  $\mu\text{g-at/L}$ 、リンは平均0.69  $\mu\text{g-at/L}$ 。窒素は平年(7.2  $\mu\text{g-at/L}$ )よりやや低く、リンは平年(0.62  $\mu\text{g-at/L}$ )よりやや高い。-10m層(平均)は、窒素6.4  $\mu\text{g-at/L}$ で表層よりやや低く、リン0.69  $\mu\text{g-at/L}$ で表層並。

窒素は、陸水の影響が見られる湾東部の地点で7  $\mu\text{g-at/L}$ 以上、その他の海域では表層・-10m層ともに概ね6  $\mu\text{g-at/L}$  台の値であった。

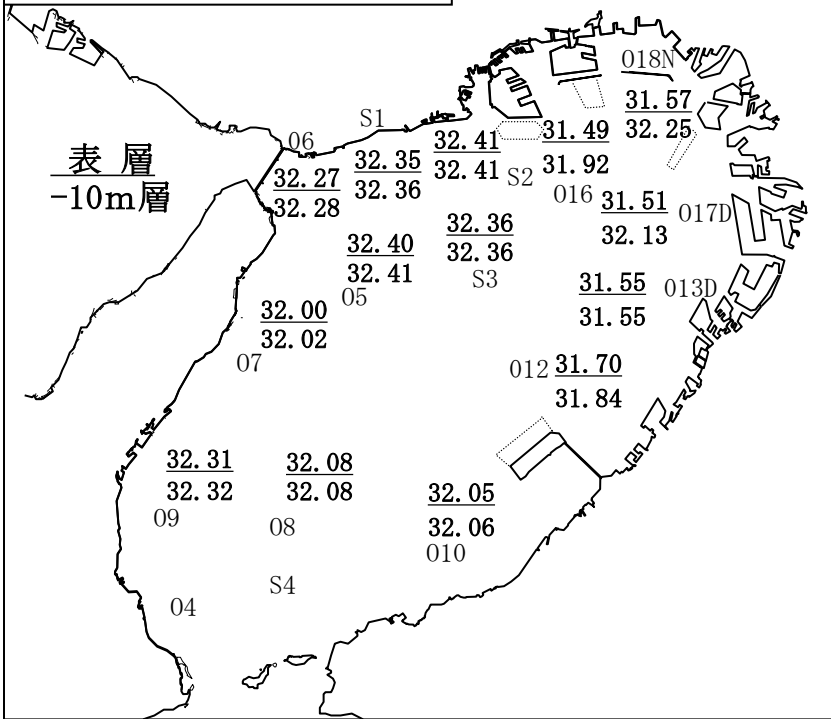
湾全域の表層・-10m層ともに、大型珪藻コシノディスカスが確認された。湾東部では、小型珪藻のスケルトネマ等は確認されるが、発生量は少ない。

上段 (今回値)	2024年11月 8日調査
中段 (昨年値)	2023年11月 9日調査
下段 (平年値)	11月上旬

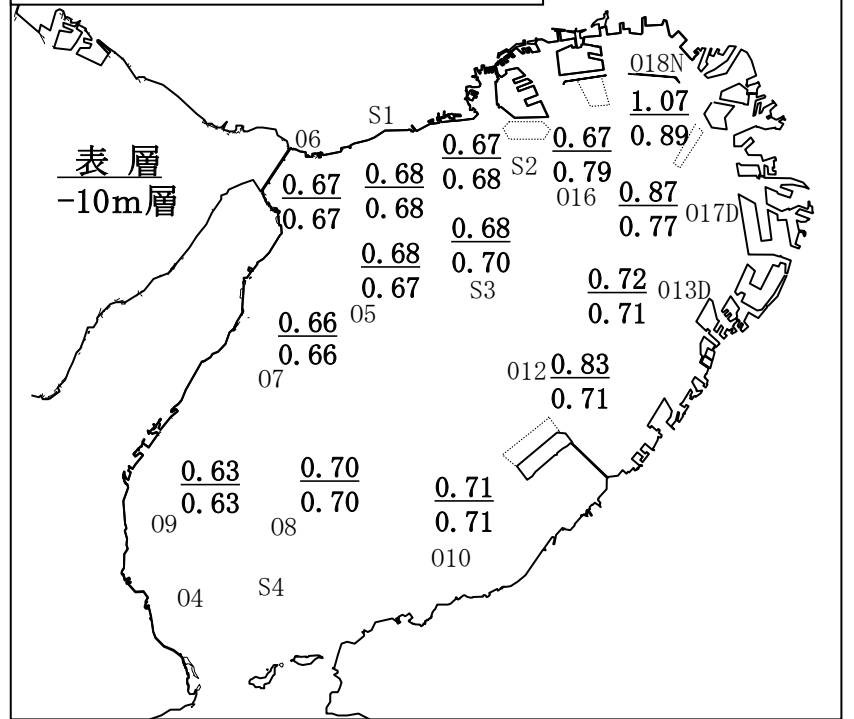
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ( $\mu\text{g-at/L}$ )	リン ( $\mu\text{g-at/L}$ )
04				
05	22.4	32.40	6.2	0.68
	21.8	32.62	2.8	0.59
06	21.3	31.95	6.1	0.59
	22.3	32.27	6.2	0.67
07	21.7	32.55	2.7	0.60
	20.9	31.28	6.7	0.61
08	21.9	32.00	6.6	0.66
	21.4	32.49	2.5	0.54
09	21.2	32.00	5.9	0.82
	22.0	32.08	7.0	0.70
10	21.5	32.63	2.3	0.54
	21.2	32.19	5.6	0.55
12	22.0	32.31	6.4	0.63
	21.5	32.88	2.4	0.51
13D	21.2	32.15	5.4	0.53
	21.9	32.05	7.1	0.71
16	21.5	32.53	3.2	0.54
	20.7	31.71	6.7	0.60
17D	21.6	31.70	9.6	0.83
	21.1	32.12	3.7	0.56
18N	20.4	31.20	6.7	0.54
	21.4	31.55	8.0	0.72
S1	21.3	31.96	5.6	0.60
	20.4	31.02	8.0	0.53
S2	21.0	31.49	7.3	0.67
	20.5	30.24	15.7	1.17
S3	19.7	29.50	12.5	0.70
	21.5	31.51	11.0	0.87
S4	20.6	28.05	26.7	1.54
	20.2	28.66	22.9	1.00
013D	21.5	31.57	14.6	1.07
	20.9	29.23	28.1	1.48
017D	19.8	27.54	32.4	1.78
	22.3	32.35	5.9	0.68
018N	21.7	32.63	2.9	0.57
	20.8	30.89	7.3	0.60
016	22.3	32.41	5.9	0.67
	20.4	30.44	13.4	0.89
018N	20.0	29.87	9.9	0.64
	22.4	32.36	5.8	0.68
017D	21.7	32.65	2.9	0.57
	20.9	31.60	6.5	0.59
013D				



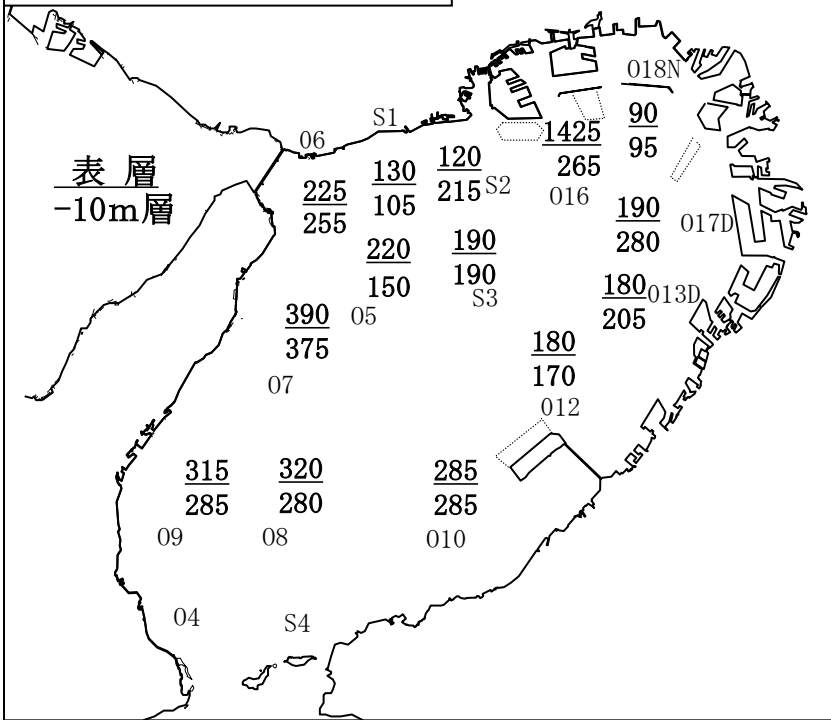
塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスクス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)

